



SAP Ariba 

機能の概要

サプライヤの氏名を表示

Lisa Gangewere、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: サプライヤの氏名を表示

導入の難易度  ロータッチ/容易
対象エリア  グローバル

今までの課題

ERP 連携システムでは、会社名が複数の名前フィールドに分割されます。ERP システムでは、これらのフィールドを会社名の続きとして扱い、独立した名前としては扱いません。

Supplier Risk では、すべての名前フィールドが利用されますが、それらは独立したフィールドとして利用され、サプライヤエンリッチメント、否定的な情報の監視およびサードパーティが認可するプロバイダのマッチングでは、肯定的な結果を返すことができません。また、Supplier Risk では、ユーザーインターフェイスで 1 つの名前しか使用されないため、組織の検索と表示も正しく行えません。

対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Risk

SAP Ariba で問題解決

この機能では、組織の識別、検索、および否定的な情報の監視を改善するために、SAP Ariba Supplier Risk にサプライヤの氏名が表示されます。

関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

主なメリット

この機能は、サプライヤの氏名を表示して、組織を正しく識別し、否定的な情報の監視でより適切な結果が得られるようにします。Supplier Risk のサプライヤエンリッチメントの処理が改善され、Supplier Risk で監視されている組織のエンリッチメントの結果も高まります。

前提条件と制限事項

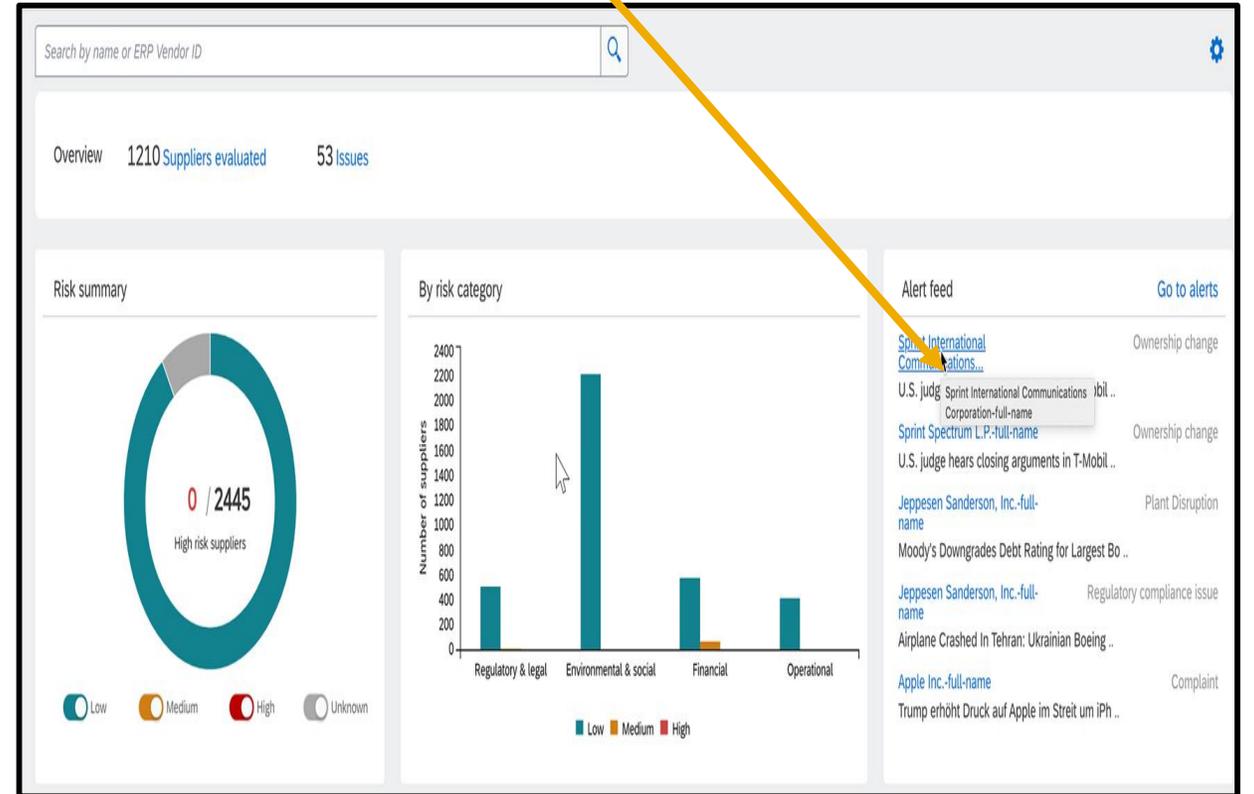
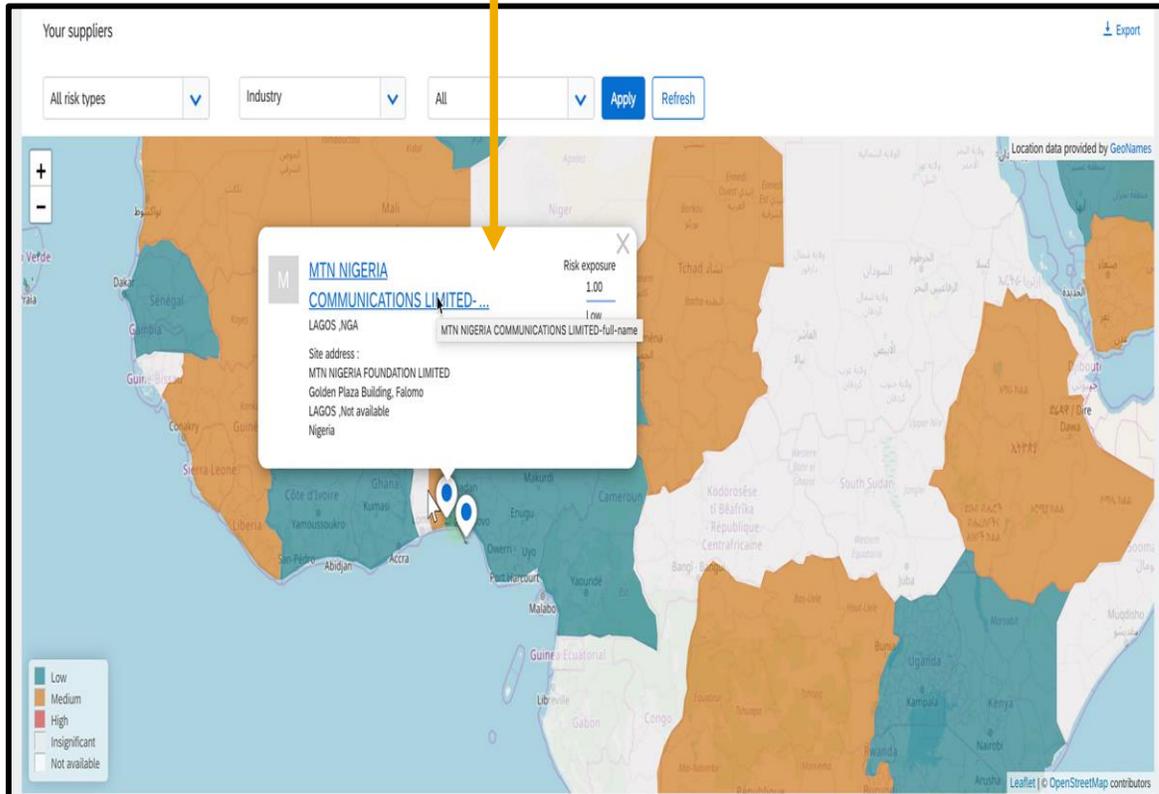
SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance に対してサプライヤの氏名を表示する機能を有効にしている場合は、この機能を有効にすることをお勧めします。

SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance を使用せずに、SAP ERP 連携を使用している場合は、SAP ERP の名前フィールドにサプライヤ名に対応する十分な長さが無い可能性があるため、この機能を有効にすることをお勧めします。

機能の概要

説明: サプライヤの氏名を表示

35 文字を超えるサプライヤ名の例。ユーザーには氏名が省略記号「…」付きで表示され、氏名にマウスのポインタを合わせると、会社名全体を表示できます。



機能の概要

説明: サプライヤの氏名を表示

Supplier Risk では、新しい切替機能を導入し、切替を有効にすると、以下が可能となります。

- 名前 1 ～ 名前 4 フィールドにまで会社名がまたがって表示される場合は、会社名は連結されます（連結された名前は氏名と呼ばれます）。
- 氏名はサプライヤエンリッチメントとサードパーティの監視で使用されます。
- 氏名フィールドが 35 文字を超えると、ユーザーには氏名が省略記号「…」付きで表示され、ユーザーがその上にマウスのポインタを移動したり、合わせたりすると、会社名全体を表示できます。
- 名前 1 ～ 名前 4 フィールドのいずれかが 35 文字という制限に達している場合、氏名の機能によって、1 つの氏名を構成するために連結されているフィールド間のスペースを除外します。
- 切替が有効な場合は、Supplier Risk ユーザーインターフェイスでは、サプライヤ名を表示するすべての場所に氏名が表示されます。